

奈良原一高 「ヴェネツィアの夜」「ジャパネスク」

NARAHARA Ikko: *Venice-Nightscapes and Japanesque*

会期 2024年12月18日|水|－2025年3月23日|日|

会場 近現代美術室B



福岡県大牟田市生まれの奈良原一高（な ら はら い っ 高 1931－2020）は、戦後日本を代表する写真家のひとりです。判事であった父の転勤に伴い、幼少期より日本各地を転々とした奈良原は、早稲田大学大学院在学中の1956（昭和31）年に初の個展「人間の土地」を開催します。桜島の噴火により埋没した村と、長崎沖の人工炭鉱島という、外界から隔絶された場所たぐさでなお逞しく生きる人々をとらえた作品は、大きな反響を呼び、ここから奈良原の写真家としての歩みが始まりました。その後、日本のみならず欧米各地でも活動し、それぞれの土地と、そこでの人間の営みをカメラにおさめました。写真のさまざまな技法を駆使し造形性を追求した奈良原の作品は、高い評価を受けました。

福岡市美術館は、2021年度に作家のご遺族より寄贈を受け、主要な6つのシリーズからオリジナルプリントを中心に211点を収蔵しました。本展では、シリーズ「ヴェネツィアの夜」および「ジャパネスク」より、50点をご紹介します。

〔近現代美術係 高山 環〕

左：《落日（1）》「ヴェネツィアの夜」より、1964-85（プリント1983）年
右：《禅：坐禅・境内（石川県能登）》「ジャパネスク」より、1969（プリント1978）年
©NARAHARA IKKO ARCHIVES



福岡市美術館
FUKUOKA
ART
MUSEUM

〒810-0051
福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051（代表）
FAX 092-714-6071
www.fukuoka-art-museum.jp

34 能：芭蕉「ジャパネスク」より

Noh : Japanesque
1968（プリント1999）
ゼラチンシルバープリント
25.7×26.6
1-F-718

35 能：卒塔婆小町「ジャパネスク」より

Noh : Japanesque
1968（プリント1997）
ゼラチンシルバープリント
35.5×46
1-F-719

36 禅：坐禅・境内（石川県能登）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1978）
ゼラチンシルバープリント
34×22.6
1-F-720

37 禅：坐禅・僧堂内単（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1972）
ゼラチンシルバープリント
34.5×23.5
1-F-721

38 禅：坐禅・僧堂内単（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1978）
ゼラチンシルバープリント
45.8×31.9
1-F-722

39 禅：警策僧（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1978）
ゼラチンシルバープリント
33.5×45.6
1-F-723

40 禅：坐禅・内単入口（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1978）
ゼラチンシルバープリント
32.8×23.5
1-F-725

41 禅：長廊下（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1973）
ゼラチンシルバープリント
18.9×27.9
1-F-726

42 禅：掃作務（石川県能登）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1998）
ゼラチンシルバープリント
45.8×31.1
1-F-729

43 禅：大鐘楼（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1978）
ゼラチンシルバープリント
26×34
1-F-731

44 禅：廻廊（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1978）
ゼラチンシルバープリント
23×33.9
1-F-732

45 禅：大僧堂外単（神奈川県鶴見）
「ジャパネスク」より

Zen : Japanesque
1969（プリント1998）
ゼラチンシルバープリント
45.7×29.7
1-F-733

46 色（67）「ジャパネスク」より

Courtesans (67) : Japanesque
1968（プリント2000）
ゼラチンシルバープリント
27.1×34.8
1-F-734

47 色（71）「ジャパネスク」より

Courtesans (71) : Japanesque
1968（プリント2000）
ゼラチンシルバープリント
41×31
1-F-735

48 角力：横綱大鵬（東京都両国・二所ノ関
部屋）「ジャパネスク」より

Sumo : Japanesque
1979（プリント1989）
ゼラチンシルバープリント
23.7×33.1
1-F-736

49 角力：幕内土俵入り（東京都両国・国技
館）「ジャパネスク」より

Sumo : Japanesque
1979（プリント1989）
ゼラチンシルバープリント
33.1×22.1
1-F-738

50 角力：幕内土俵入り（東京都両国・国技
館）「ジャパネスク」より

Sumo : Japanesque
1979（プリント1989）
ゼラチンシルバープリント
22×33.1
1-F-739

「ヴェネツィアの夜」

初個展「人間の土地」(1956年)と2度目の個展「王国」(1958年)で新進気鋭の写真家として評価を得た奈良原は、1962年から3年間、活動の場をヨーロッパに移します。

滞欧中の1964年に初めてヴェネツィアを訪れた夜、奈良原は、船のヘッドライトに照らされ闇のなかから不意に現れた水上の街並みに衝撃をうけ、たちまちアドリア海に築かれた神秘的な都市に魅了されました。潟に打ち込んだ杭の上に築かれたヴェネツィアは、「人間の土地」の舞台であった軍艦島と同様、水に囲まれ、水によって他の世界と隔てられた人工の島です。ここに、外界から孤絶し、奈良原のいう「生の密度の高い土地」に心惹かれる写真家の一貫した関心をみることができます。

ようやく再訪が叶った1973年以降、奈良原は頻繁にヴェネツィアを訪れるようになります。この時期は奈良原の母や周囲の親しい友人を多く失った時期と重なりますが、不思議なことに、ひとつの死を迎えるたび、輝く闇を湛えたヴェネツィアに一層魅せられていったといえます。

網の目のように張り巡らされた運河に舟が描く光跡、光によって浮かび上がる橋や壮麗なサン・マルコ広場などを写し撮りました。これらの作品をまとめた写真集『ヴェネツィアの夜』(1985年)は、発表の翌年に日本写真協会年度賞を受賞しました。

1 落日 (1) 「ヴェネツィアの夜」より	2 落日 (2) 「ヴェネツィアの夜」より	3 光跡 (5) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Sunset (1) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 33×21.6 1-F-667	<i>Sunset (2) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 22.5×33 1-F-668	<i>Lines of Luminance (5) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 32×48 1-F-669
4 光跡 (8) 「ヴェネツィアの夜」より	5 光跡 (11) 「ヴェネツィアの夜」より	6 光跡 (12) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Lines of Luminance (8) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 22.1×32.7 1-F-671	<i>Lines of Luminance (11) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1994) ゼラチンシルバープリント 25.9×28.3 1-F-672	<i>Lines of Luminance (12) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 48×31.8 1-F-673
7 光跡 (15) 「ヴェネツィアの夜」より	8 光跡 (16) 「ヴェネツィアの夜」より	9 橋 (20) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Lines of Luminance (15) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 37.6×47.9 1-F-676	<i>Lines of Luminance (16) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 48.1×31.4 1-F-677	<i>Bridges (20) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 31.8×47.9 1-F-679
10 橋 (21) 「ヴェネツィアの夜」より	11 橋 (22) 「ヴェネツィアの夜」より	12 橋 (23) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Bridges (21) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 31.8×47.7 1-F-680	<i>Bridges (22) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 32×47.8 1-F-681	<i>Bridges (23) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1993) ゼラチンシルバープリント 21.9×33.1 1-F-682
13 橋 (26) 「ヴェネツィアの夜」より	14 迷路 (29) 「ヴェネツィアの夜」より	15 迷路 (32) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Bridges (26) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 47.9×31.8 1-F-684	<i>Labyrinth (29) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1984) ゼラチンシルバープリント 21.8×32.9 1-F-685	<i>Labyrinth (32) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 33.1×21.8 1-F-687

16 迷路 (33) 「ヴェネツィアの夜」より	17 迷路 (35) 「ヴェネツィアの夜」より	18 迷路 (38) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Labyrinth (33) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 21.9×32.8 1-F-688	<i>Labyrinth (35) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 32.6×21.9 1-F-689	<i>Labyrinth (38) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 33.9×25.1 1-F-692
19 迷路 (39) 「ヴェネツィアの夜」より	20 迷路 (41) 「ヴェネツィアの夜」より	21 迷路 (47) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Labyrinth (39) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 47.7×30.5 1-F-693	<i>Labyrinth (41) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1987) ゼラチンシルバープリント 32.5×27.8 1-F-695	<i>Labyrinth (47) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1997) ゼラチンシルバープリント 37.5×47.8 1-F-699
22 迷路 (49) 「ヴェネツィアの夜」より	23 聖マルコ広場 (56) 「ヴェネツィアの夜」より	24 聖マルコ広場 (60) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Labyrinth (49) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント2021) ゼラチンシルバープリント 32.6×21.6 1-F-700	<i>Piazza San Marco (56) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 25.1×37.8 1-F-702	<i>Piazza San Marco (60) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1987) ゼラチンシルバープリント 47.7×31.9 1-F-704
25 聖マルコ広場 (61) 「ヴェネツィアの夜」より	26 テンペスト (65) 「ヴェネツィアの夜」より	27 テンペスト (66) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Piazza San Marco (61) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 32.9×21.9 1-F-705	<i>Tempest (65) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 22.9×32.9 1-F-707	<i>Tempest (66) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1987) ゼラチンシルバープリント 29.8×47.7 1-F-708
28 テンペスト (67) 「ヴェネツィアの夜」より	29 祝祭 (69) 「ヴェネツィアの夜」より	30 祝祭 (70) 「ヴェネツィアの夜」より
<i>Tempest (67) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 21.7×32.8 1-F-709	<i>Feast (69) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント2021) ゼラチンシルバープリント 21.7×32.5 1-F-711	<i>Feast (70) : Venice-Nightscapes</i> 1964-85 (プリント1983) ゼラチンシルバープリント 21.9×33 1-F-712

「ジャパネスク」

バリを中心に3年間滞在したヨーロッパでさまざまな国の人々と交わることによって、奈良原は「人間」としての孤独や連帯感を得ると同時に、日本人としての認識も強めることになります。ここでの生活は、奈良原がこれまで「あまりにも身近で遙かな国という感」がして、「容易に接近できないものであった」と語る日本へ目を向ける契機となりました。

1965年に帰国したのち、日本の伝統文化を再考するシリーズに着手します。時として幼少期の記憶をたどりつつ、奈良原自身が日本らしさを見出したテーマについて、国内各地で取材します。その成果は《封(サムライ)》を皮切りに、雑誌『カメラ毎日』に断続的に掲載されました(1966～69年)。これらを抜粋、総集編としてまとめたものが写真集『ジャパネスク』(1970年)で、順に「富士」「刀」「能」「禅」「色」「角力」「連(阿波踊り)」「封」の8つの章で構成されています。

広角レンズや望遠レンズを使用したアングルの強調や、長時間の露光によるブレの効果、陰影を強調した表現など、テクニックを駆使した多彩な表現方法も本シリーズの特徴です。

31 刀：平井松葉刀研師(東京都港区)「ジャパネスク」より	32 刀：栗田喜州大森流居合教士六段(水戸東武館)「ジャパネスク」より	33 刀：宮ロー貫斎恒寿刀匠(東京都豊島区)「ジャパネスク」より
<i>Katana Swords : Japanesque</i> 1968 (プリント1973) ゼラチンシルバープリント 34.5×26.6 1-F-713	<i>Katana Swords : Japanesque</i> 1968 (プリント1973) ゼラチンシルバープリント 34.3×23.3 1-F-714	<i>Katana Swords : Japanesque</i> 1968 (プリント1979) ゼラチンシルバープリント 36.7×24.8 1-F-716